

2024  
FEBRUARY  
vol.43

# ひるは\*

協会だより

レポート

第30回 群馬県老人保健施設大会

第34回 全国大会「宮城」報告

「みてみよう!みんなの作品」  
施設の「ここに注目!!!」コーナー  
これ知ってました?  
全老健だより

パワ コシヨルド広場

## 「令和という時代」

公益社団法人群馬県老人保健施設協会 理事長

服部 徳昭

IT化、AIそしてDXというキーワードが日本社会を席卷してきた。Chat GPTの出現で社会の様相は私たちの予想を超えて変わっている。新型コロナウイルスのパンデミックを乗り越える中で日本の社会制度の弱点が露呈した。しかし、その弱点をカバーし、「コロナ感染者数、死亡者数を低く抑えたのは日本そのものであった。」

現代の日本の社会制度の弱点は個人情報保護法を考えると分かり易い。独立行政法人、行政機関、民間のそれぞれの個人情報の取り扱いが2,000に及び法・条例からなっているために、統一するには2,000個の法・条例を整理する必要があった。これが個人情報保護法の2,000個問題であった。その他、印鑑、目視、書類の郵送等々、縦割りの法律や条例を日本全体で整備しているのである。中心となっているのはデジタル庁である。その謳い文句はDXである。つまり、DXとは制度改革ということに他ならない。

日本社会における最初の制度改革といえば天武朝の律令国家体制の確立だろう。その後、様々な制度改革がなされてきた。明治維新はその中でも大きな転換点である。今でも、明治がどのような時代か検証され続けている。科学技術の進歩により、天文学ではブラックホールの解明が急速に進み、宇宙の始まりのビッグバン説もその信憑性が問われ始めている。量子コンピュータの進歩で新たなコンピュータ社会が形成されていく。情報はまさに量子物理であると言われる。

私たちはどこを指していくべきか。西洋文明は歴史的に自然を支配しようとし、それ以外の文明を低く見てきた。哲学者で人気を博した実存主義のサルトルを白人至上主義と論破したのは日本文化をこよなく愛した哲学者で人類学者のクロード・レヴィ・ストロースであった。私たち日本人の文化は縄文時代から数万年続いていると言われる。その間、自然と共に生きてきたが、どんな自然だったかを福井県水月湖の年縞博物館の研究成果に垣間見ることができるといふ。

本居宣長は中国の王朝が代わる度にその文化が変わってきたと言い、一方、日本は変わらぬ文化を育んできたと言った。そして、その本流を「もののおわれ」と表現した。私たち日本人のアイデンティティの一つでもある。DXで制度が変わり、様々な煩雑な紙媒体の手続きがスマホひとつで済み、より住みやすい社会が到来する。一方で様々な不都合が私たちの周りに起きて、私たちの「こころ」を揺さぶる。しかし、不安・焦燥が惹起されても私たち日本人のアイデンティティがそれを跳ね返すと思う。多様化する社会の中で日本人が様々な形で発信・表現するものを素晴らしいと言ってくれる多くの外国人がいる。その子どもたちが日本を好きになり、大人になって日本に来てくれる今、「日本人とは?」「その本質は何なのか?」を問っていく必要がある。それで令和という時代が見えてくるし、歴史の検証に耐える未来に続く時代として残ると考える。

# 第30回群馬県老人保健施設大会

4年ぶり！初めての「オンライン」開催

## 第30回群馬県老人保健施設大会を終えて

介護老人保健施設ふじあく光荘 施設長 高田 勢子



昨年10月28日から11月11日にかけて、第30回となる群馬県老人保健施設大会は「あらためて老健が今出来ることを考える」コロナ禍を経て、未来に向けて笑い合い学ぼう」というテーマのもと、初めてのオンラインでの開催となりました。

未経験の大会運営となり、どれ程の方達がどのように参加して下さるのか、全くわからない状況でしたが、YouTubeで45演題の動画を配信するという方法は、期間中いつでも視聴する事ができ、またすべての演題を視聴する事ができるという、今まで不可能であった事が可能となり、有意義な大会であったのではと感じます。しかしながら、過去の大会を振り返ると、その場での質問や座長とのやり取りが参考になる事が多くあり、その点は今後の課題だと思われまます。個人的には、今回は初めての方法でしたので45演題でしたが、今後は県内すべての施設の発表が可能となる事を願います。

特別講演では、「共感をつなぎ、主体を広げていく地域の拠点へ」というテーマで、大森平和の里施設に向けた介護老人保健施設の新たな可能性」というテーマで、大森平和の里施設長である澤登久雄先生にご講演頂きました。澤登先生が立ち上げた「おた高齢者見守りネットワーク（みまもも）」のお話や現在の森平和の里での取り組みから、これから老健が地域に開かれた施設となっていく必要性が必然性となっていく過程の可能性を感じる事ができました。

第30回の記念大会にあたり、初代理事長の高玉真光先生にお言葉を頂き、群馬県の老健の歴史を語って頂きました事、感激いたしました。先生にはいつまでもお元気で私達を見守って頂きたくお願い申し上げます。結びに、今大会の準備及び運営にご尽力頂きました理事会ならびに事務局、東毛ブロック運営委員会の皆様、そしてご協賛で参加頂いた関係者の皆様に、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

## 発表演題一覧表 — 第30回群馬県老人保健施設大会 —

第30回群馬県老人保健施設大会では、45施設の45名の職員の皆様から演題発表がありました。日頃の業務の中で取り組んできたことを論文としてまとめ、発表いただきました。一つ一つの演題が、毎年積み重ねられ、より良いケアに繋がってきました。

No.	カテゴリー 【中分類】 項目	演題名	施設名	発表者
<b>【一般的なケア】</b>				
1	利用者の状態(ADL)の向上	ほめられるとうれしい～QOLの向上はADLの向上～	みずき荘	仲澤雅代
2	ケアの在り方	猜疑心と不安感の強い利用者様と関わって～コミュニケーションの大切さ～	ビハーラ寿苑	若井宏太
3	ケアの在り方・身体拘束ゼロ	心因性頻尿の緩和～役割や楽しさ提供による改善例～	ゆうあい荘	古澤尚哉
4	ケアの在り方	COVID19のクラスターから得た教訓～混乱から再生へ～	サンホープ笠懸	村上ゆう子
5	ケアの質の向上	職員と利用者双方の必要なケア～残存能力を活かしたケア～	若宮苑	秋本 駿
6	ケアの質の向上	学ぶって大切！～スキル向上は互いのQOL向上へ～	やまぶき	三井俊輝
7	ケアの質の向上	生活の質を向上させる効果的なスキンケアの模索～高齢者に多く訪れる皮膚トラブルの予防～	おうみ	野口広夢
8	チームケア	笑顔がいっぱいに～コロナ禍を経て通所リハビリを再開して～	春照苑	加藤恵美子
<b>【医療と看護介護】</b>				
9	ターミナルケア	コロナ禍でのターミナルケア～面会制限と立ち向かう～	旭ヶ丘	大池英里子
10	褥瘡ケア	重度褥瘡に対するチームアプローチ～多職種連携による褥瘡治療への取り組み～	すみれの里	粕谷明美
11	その他の医療、看護介護関連	老健に特定行為看護師を配置する有用性～当施設における特定行為看護師の活動と実績から考察する～	アルボース	滝原典子
<b>【認知症】</b>				
12	生活リズムと環境	光を使った睡眠の援助～ゆっくりと休んで頂くために～	赤城苑	小林和行
13	その他の認知症ケア関連	笑顔で過ごせるデイケアへ～帰宅願望のある利用者様の1日利用を目指して～	あけぼの苑 高崎	大塚裕子
<b>【レクリエーション】</b>				
14	音楽	のってハツラツ！リズム体操～誰もが笑い楽しもう～	仏スやぶつかロイヤルケアセンター	青木芽子
15	その他のレクリエーション関連	レクリエーションの充実と多様化～ユニークな活用～	みさと	矢島裕司
<b>【体位保持・変換・移動等】</b>				
16	起居・移乗・移動等のケア	療養型老健における離床の促進～職員の離床への意識改革～	療養型みさと	森田紀子
17	その他の移動等のケア関連	職員のスキンケアに対する知識、技術改革～しているケアから考えるケア～	和光園	松島早織
18	その他の移動等のケア関連	一人で歩きたい～自分でできる事を増やす～	ココン	中條瑞紀
<b>【排泄】</b>				
19	その他の排泄ケア関連	排泄支援ロボット導入について～自分でできる感動をもう一度！！～	陽光苑	堀越大史
<b>【食事(栄養)ケア】</b>				
20	栄養ケア・マネジメント	通所リハにおける栄養アセスメント加算の取得状況～算定対象者の特性の分析～	大誠苑	金子祐紀
21	栄養ケア・マネジメント	多職種介入により栄養状態が改善した症例～ミールラウンドで体験したこと～	鶴寿園	荻原早貴
22	その他の食事(栄養)ケア関連	「食べる」意欲～食への楽しさを忘れずに～	まゆ玉	飯塚ゆかり
23	リハ栄養	食事から始める自立支援～適切な食事形態はQOLを改善する～	青梨子荘	萩原容子

No.	カテゴリー 【中分類】 項目	演題名	施設名	発表者
<b>【栄養・給食】</b>				
24	献立と食べ物	試食会を通してベース献立の導入～利用者主体の美味しいカレーを求めて～	高砂荘	新井胡桃
25	その他の栄養、給食関連	利用者に向けた食事を提供しよう～職員が利用者に向けた食事を理解しよう～	こまち	岩井真由
26	その他の栄養、給食関連	唾液アミラーゼが食物の性状に及ぼす影響について～粥の離水と唾液の関係～	一羊館	山岡紀子
<b>【リハビリテーション】</b>				
27	個別リハ(身体障害)	やっぱり帰りたいな～在宅復帰に向けてバランス能力に着目した症例～	藤岡みどりの園	川窪映汰
28	個別リハ	在宅復帰を目指す個別訓練～コロナ感染を乗り越えて～	二之沢バナケア	榎本陽子
29	グループ・集団のリハビリ	作業療法って何ですか？～集団作業療法を導入して～	めぐみ	後閑美穂
30	行動療法	介護老人保健施設での作業療法の関わり方について～その人の生活に焦点を当てIADLを活用した症例～	とね	押木卓夫
<b>【リスクマネジメント】</b>				
31	感染予防	コロナ禍を乗り越えて～職員アンケートを実施して～	希望の苑	松浦拓馬
32	感染予防	新型コロナウイルス感染症の猛威～クラスターを2度経験して～	あけぼの荘	加藤明美
33	感染予防	クラスター発生時における排泄対応～排泄からの感染を防ぐ～	ふじあく光荘	正田明日香
34	感染予防	コロナ禍におけるリハビリテーション実施～環境の変化による通所利用者への影響～	プランタンおおま	諸橋美香
35	各種対策	安心して過ごせる施設へ～様々なリスクマネジメントを見直して～	リハビリホーム 喜望峰	今井武志
<b>【業務改善と効率化】</b>				
36	その他の業務改善関連	オムツ見直しによるコスト削減への取り組み	かがやき	佐藤 翔
37	その他の業務改善関連	コロナ禍におけるトランシーバーを使用した情報の伝達～ゾーニングで分かった情報伝達の不備～	さくら苑	大下英司
38	その他の業務改善関連	職場の問題発見しちゃった！改善しちゃった！！～職場の活性化の実践～	太陽	三浦 誠
39	職場環境改善	人員不足解消に向けた取り組み	武尊荘	田口敏治
<b>【人材】</b>				
40	教育・育成・研修	外国人技能実習制度の活用～介護の国際化 その課題と効果～	ケアピース	高村大志郎
41	教育・育成・研修	安全な食事を目指して	創春館	牛房袖花
42	教育・育成・研修	コロナ禍における接遇技術の向上～ユニチュードを取り入れて～	せせらぎ苑	井上与一
43	その他(職員のケア)	モチベーションをブラッシュアップ！～感染症に負けない褒める力～	けやき苑	強矢未来
<b>【在宅支援と地域連携・地域包括ケアシステム】</b>				
44	地域貢献・地域とのかかわり	福祉教育から見てきたもの～老いを知り向き合うこと～	ミドルホーム 富岡	鶴田典子
<b>【介護ロボット】</b>				
45	支援型ロボット	移乗サポートロボット Hug (ハグ)を導入して～職員の為はご利用者様の為にもなる～	老健くろさわ	藤塚哲哉



第30回群馬県老人保健施設大会  
131名の受賞者を代表して、服部徳昭理事長から大川原常仁様(ふじあく光荘)、狩野京子様(和光園)に賞状と記念品が授与されました。

## 【県協会施設職員表彰表彰式(10/28)】



## 【第30回大会ポスター】

高田大会長の発案で、大会テーマ「笑い合い学ぼう」にちなんで、キャラクター写真を載せたポスターにしました。今までにはない斬新なデザインとなりました。



自分たちの施設が、「入所者・利用者のための施設」であつたら、利用する人は「住民」から「入所者・利用者」になります。ですが、「施設が地域に開かれた施設」であつたなら、たとえ施設に入所したとしても地域との関係を保ち、住民で居続けることができます。今目の前にいるその人が本当に大切にしたいことは何なのか？そこからが本当の意味での「支援」のスタートなのではないでしょうか？本人の気持ちに伴わない中では…、何も生まれません。私たち専門職が今、意識しなければならないこと、それは「支援」よりも「共感」をつなぎ、「主体」を広げていくことです。



【特別講演講師 澤登久雄先生】  
(社会医療法人財団仁会会 牧田総合病院地域ささえあいセンター センター長 介護老人保健施設大森平和の里 施設長)

令和5年10月28日(土) 11月1日(土)の15日間

# みてみよう! みんなの作品

## 群馬県老人保健施設協会作品展のご報告

COVID-19やインフルエンザ感染の終息が見込めない日々が続いていますが皆様方におかれましてはご健勝のことと存じ上げます。

さて、作品展が例年通りの開催ができないため、前回の「ひろば」で紙上掲載を行いました。初めての試みでしたが如何だったでしょうか。会場で直接見たり、手に触れたりできない2次元の情報のため、いまひとつ実感に乏しい印象があるかもしれません。一方、会場までなかなか足を運ぶことが出来ない利用者様およびスタッフも多数いるため、「ひろば」を通じて各施設の作品を見る良い機会になったのではないのでしょうか。

今回も作品展紙上掲載を行い、写真紹介させていただきます。利用者様あるいはスタッフの方たちとの協働作業による作品をご覧いただき、皆さまの施設における作品作りへの意欲や気づきに繋がって頂ければ幸いです。

現在、世間ではマスクを外している方が多くなっているものの、不特定多数の方たちが集まる場所での行動となると感染リスクがあり、利用者様の外出は憚られる施設が多いと思われまます。令和6年度も会場での作品展は行わず、紙上での紹介となる予定です。

今後も作品作りを利用者様が個人で、あるいは利用者様同士、スタッフも交えて楽しみながら笑顔で行っていただけることを祈念いたします。

作品展実行委員長 水間 春夫

## 介護老人保健施設 けやき苑

### 一般棟



手形を切り出して鱗にしました

干支 辰

### 専門棟



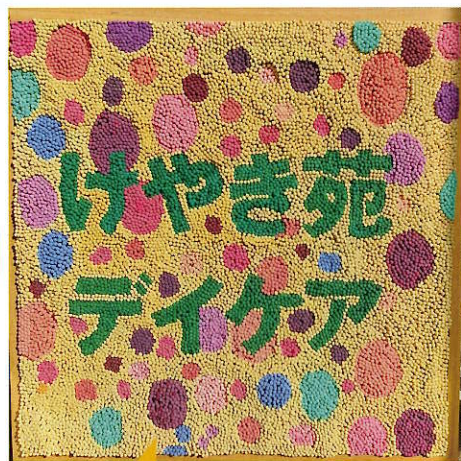
クレヨンアート

名画の模写などを行っています

### 通所リハ



アクリル絵の具で色塗り



毎日コツコツと頑張りました!

綿棒アート



綿棒を斜め半分に切り、一本ずつ丁寧に色を塗ります。一日乾かした後土台に刺しています。何カ月もかけ完成したので達成感がとてもあります。

# 第34回全国介護老人保健施設大会 宮城

## 大会テーマ 「地域共生社会の復権と老健」 デジタル化時代の絆

2023年11月21日(火)・22日(水)の2日間、宮城県仙台市において「第34回全国介護老人保健施設大会 宮城」(大会会長 小林誠一 全老健宮城県支部長)が開催されました。大会参加登録者は2,827名、演題数は635演題でした。群馬県支部からも、多くの皆様ご参加されました。



仙台国際センター会議棟大ホールにて、午前9時30分から開催されました。

### 【開会式】



令和5年度公益社団法人全国老人保健施設協会表彰(個人表彰)を受賞された介護老人保健施設 太陽 大沢 郁子 様

開会式に続き、表彰式が執り行われました。

### 【演題発表座長】

座長派遣要請を受け、3名の皆様に座長をお願いしました。お忙しい中、ありがとうございました。



左から 介護老人保健施設 青梨子荘 佐鳥 紀輔 様  
介護老人保健施設 大誠苑 新谷 夏海 様  
介護老人保健施設 アルボース 藤田 真介 様

### 【演題発表】

写真は、演題発表の後、会場でお会いできた皆様です。(※群馬県支部からの演題発表者は他にもいらっしゃいましたことを申し添えさせていただきます。)



群馬県老人保健センター 陽光苑 高玉真光理事長と職員の皆様



介護老人保健施設 大誠苑 職員様



介護老人保健施設 アルボース 職員様

### 【会場】



仙台国際センター



介護老人保健施設 かがやき 職員様



介護老人保健施設 和光園 職員の皆様

介護老人保健施設 太陽



太陽20周年記念 作品展



通所

お花紙を細かく裁断し、色玉を丸めて貼り付け、一つの絵を仕上げます。今年は「ROKENくん」「ひまわり」を作成しました。

太陽はおかげさまで開設20周年を迎えました。職員が利用者様と一緒に記念ストラップを400個ほど作りました。とても好評で、各々車いすや歩行器・バッグや腰等に付けています。

だるま作りは風船をベースに型をとり、周りの糊付けを利用者様に行っていただきました。立派なだるまが完成です。リースは、利用者様が色付けした飾りをちりばめました。

月メリークリスマス

入所



老人保健施設 一羊館

通所リハビリ



賑やかになるように本物の落ち葉や松ぼっくりをいれました

一般病棟 ~思い出の秋~



花紙を小さく丸めて施設名をモチーフに作りました

利用者様の過去の思い出をイメージした作品です



専門病棟

介護老人保健施設 ナーシングホーム館林

壁画



夏は新緑  
冬は雪化粧

藍染



輪ゴムやビー玉、割りばしで好きなように縛ったりしてもらい、いろんな柄ができました

春は花びら、秋は銀杏や紅葉の葉の貼り絵をして頂き、壁に綺麗な桜や紅葉ができました

沢山作って金魚すくい大会を開催します

金魚



園芸

介護老人保健施設 グッドウェル

神輿



利用者さんに広告紙で鉛筆太さの棒を作ってもらい、牛乳パックに貼り、神輿の土台にしました。

椿とアジサイ



椿は画用紙、アジサイはお花紙で作りました。

介護老人保健施設 旭ヶ丘



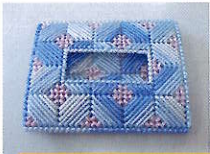
入所1階 つるし雛

心豊かな暮らしへの願いを込めて、ひとつひとつ丁寧に作りました。



入所2階 朝顔の壁掛け

花びらを染め上げる絵の具の量を調節し、きれいに仕上げる事が出来ました。



リハビリ 革細工とネット手芸



毎回コツコツと、繊細さと集中力で見事な作品が出来上がりました。



介護老人保健施設 せせらぎ苑

入所



海辺の花火大会 カニや貝殻もいます

折り紙やモールを画用紙に貼り壁一面に大きな花火を作りました。皆様と一緒に楽しみながら作りました。飾り付けた時には「キレイね～」と声があがりました。

通所



フェルトのフルーツを乗せてティータイム



完成!



三角形のコスターを編みました

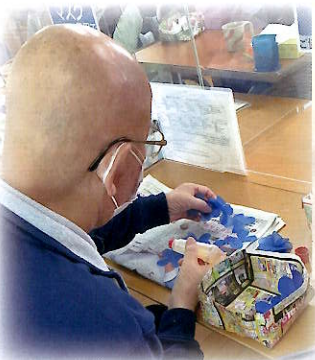


クラフトバンドでクリスマスツリー

介護老人保健施設 さくら苑

あじさいの池

“モネの池”風に出来上がりました♪



黙々と作業をしています。



お花紙が柔らかいので大変



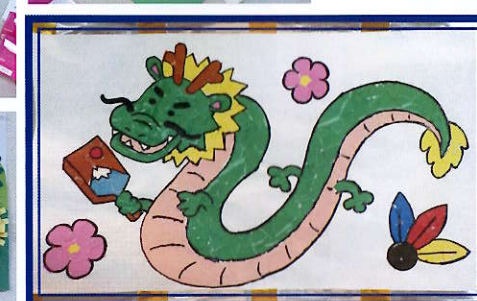
介護老人保健施設 和光園

作品作り



通所と入所で定期的に習字クラブを開催したり、作品作りを行っています。利用者様同士や職員とのコミュニケーションのきっかけになっています。

習字クラブ



墨の良い匂いがするね～



うまく書けなくて悔しいなあ～



介護老人保健施設 大誠苑

思いで話をしながらみんなで  
作りました!

七夕飾り作り



桜の切り絵作り



盆踊り飾り作り

素敵な作品が完成しました!

フラワーアレンジメント



介護老人保健施設 たまむら

レクリエーションの時間などで季節ごとの様々な作品を作成しています。  
季節ごとの飾りがフロア内を彩っています。

季節の壁面製作



製作の様子



細かい作業に苦戦しつつ、気持ちのこもった作品が仕上がりました。色鮮やかな作品の仕上がりに心躍りました。

老人保健施設 ビハーラ寿苑

通所リハビリ



十五夜に向けて制作

みんなで協力し  
作りあげた  
芸術作品!



赤富士



お月見うさぎ完成

自宅で使える、  
実用的なものを  
作りたい!  
との利用者様  
のお声から  
「掛け時計」を  
作りました。



掛け時計

介護老人保健施設 おうみ

海の中の魚たち



おうみの女性は  
折り紙が大得意!!

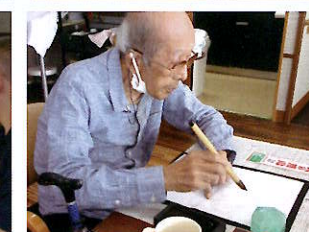


習字も  
頑張りました!

さるぼぼと仲間たち



利用者様同士でアイデアを  
出し合いながら和やかな  
雰囲気で作りました





# 施設の「ここに注目!!!」コーナー

## 中之条町介護老人保健施設 ゆうあい荘

### みんなで季節感を楽しもう!

フロア統括責任者 小堀 貴義

ゆうあい荘は吾妻郡中之条町沢渡地区の自然豊かな場所にあります。施設は四方を山や森に囲まれています。秋には施設の窓から彩り豊かな紅葉を楽しむことができます。利用者様によっては、毎日窓から見える季節毎の山並みを楽しんでおり、リアリティーオリエンテーションを満喫しています。

また、ゆうあい荘は行事委員会を中心に利用者の方に年間を通して季節感を楽しむことのできる行事を行っています。毎月行う誕生日会に加え、春にはお花祭り、夏には七夕や夏祭り、秋には敬老会や運動会、冬にはクリスマス会やお餅つきを行っています。栄養科にも協力を依頼し、季節や暦に合った食事やおやつを提供を行っています。利用者様の嚥下機能の状態により、とろみをつけたり工夫し飲み込みやすく食べやすいよう提供しています。8月の夏祭りでは、溶けないアイスクリームを提供し、利用者様にとても好評でした。

この写真は先日の運動会の様子です。赤チーム、白チームに分かれて「おやつ食い競争」や「玉入れ」を楽しみました。利用者様だけでなくスタッフも終始笑顔が絶えない楽しい時間を過ごすことができました。今後も、ゆうあい荘では利用者様とスタッフが一緒になって楽しめる企画を行っていかうと思っております。



## 介護老人保健施設 ウェルライフ三愛

### 限られた環境内で楽しみを!

介護支援専門員 綿貫 すみ江

ウェルライフ三愛は、入所定員50名、通所リハビリテーション定員20名です。ご利用の皆様が、限られた生活の中でどのようにお過ごしいただけるか? 各委員会や各月のイベント担当などで意見を出し合い、出来る事から実施しております。

老健協会主催の会場での作品展がない代わりに、秋には施設内で作品展(文化祭)を開催しております。職員やその家族の作品も展示し、皆様に見ていただいています。

新型コロナウイルスが流行してから、外部の方の慰問などが出来なくなりましたが、施設内でできる定期的なイベント『納涼祭』『運動会』『ハマチの解体ショー』『十五夜の団子作り』などは継続しています。その他、運動不足?の解消のために、16時から『体操の時間』を設けて、ラジオ体操などを始めました。今では、皆さんに定着したようで、時間になるとホールに集まって下さり、準備万端です。

施設で自慢できる事と言えば、食堂からの眺めです。高崎市の外れ、旧群馬町にある当施設は、周りに高い建物もなく、食堂の窓も全面ガラス張り、景色が一望できます。夏の花火大会など、見えるのは小さいですが、前橋、高崎、渋川、さらに伊勢崎や玉村など多方面の花火も見ることができます。

当施設は、入所者様への新型コロナウイルスの感染は出ておりません。今後も、他の感染症にも気を付け、ご利用の皆様楽しく過ごしていただけますよう、努力してまいります。



## 居宅ケアマネジャーと老健の連携に関するアンケート集計結果

群馬県老人保健施設協会では、令和5年3月に、居宅ケアマネジャーの皆様を対象にアンケートを実施させていただきました。このアンケートは、介護老人保健施設が、長期入所による在宅復帰に向けた取り組みや、通所リハビリ、短期入所、訪問リハビリなど利用者様の在宅生活におけるQOLの維持・向上に向けて適切なサービス提供を行えるよう、居宅ケアマネジャーの皆様と、より一層の情報提供・情報共有を図ることを目的に実施致しました。

この度、居宅ケアマネジャーの皆様からいただいたご意見等を取りまとめましたのでご覧いただきたくホームページに掲載致しました。下記の二次元コードからご覧いただければ幸いです。

今後、皆様からいただいたご意見等への介護老人保健施設の対応や考え方などを取りまとめる予定です。今後とも、宜しくお願い申し上げます。

### 1. アンケートの実施状況

- ・ 発送先 県内居宅介護支援事業所 720か所
- ・ 発送 令和5年3月8日(水)～9日(木)
- ・ 回答未切 令和5年3月31日(金)
- ・ 発送・回答方法
  - 発送: 協会だより「ひろばVol.41(2月号)」に同封
  - 回答: FAXまたはWebによる回答
  - 回答件数: FAX(120件)、Web(61件) 合計181件



### 2. 質問項目とご回答数

- ① コロナ禍における入退所について困難さを感じることはありますか。(ご回答 125名様)
- ② 高価薬剤など薬に関して困難さを感じることはありますか。(ご回答 90名様)
- ③ 在宅酸素療法、褥瘡治療などの医療行為を必要とする方の入所について困難さを感じることはありますか。(ご回答 44名様)
- ④ 緊急短期入所の依頼時に困難さを感じることはありますか。(ご回答 94名様)
- ⑤ 退所時における在宅での療養に関する連携において困難さ(入所中は軽介助くらいでも、自宅ではとても介護できる環境や介護資源がなかった、など)を感じることはありますか。(ご回答 62名様)
- ⑥ その他、老健施設へのご要望、ご意見などありましたらお願い致します。(ご回答 45名様)

## 介護老人保健施設 青梨子荘

### 『群馬県多文化共創カンパニー認証』

支援相談員 羽鳥 知春

青梨子荘は、平成8年に開設。一般棟50床、専門棟50床の計100床、通所リハビリ定員25名、訪問リハビリで運営しております。平成17年より外国人職員を採用しております。当初はインドネシアからの留学生のアルバイト採用からでした。その後、技能実習生や特定技能外国人等を採用し、現在は7名の外国人が働いています。初めて受け入れた外国人職員はアルバイトから始まり、当法人のリカレント教育制度(就学資金等貸付)を利用し介護福祉士養成校を卒業。介護福祉士として正規職員採用となりました。今では、リーダー職を任せられる程に成長し、後進の育成にも携わっています。

文化や習慣の違いや、言語の壁もあり、お互いに困惑することも多々ありました。そんな中でも、ご利用者の方々のトラブルはほとんどなく、むしろ可愛がって頂けるご利用者の方々が多くいてくれたことは、とても有難く思っています。また、日本人職員との関係性も良好で日本語も職員との会話により上達していきました。当荘での外国人職員採用にて、外国人であっても日本人同様に介護が実施できること、ご利用者様にも受け入れてもらえることが分かり、法人内の他事業所にて外国人職員(在留資格介護・技能実習生・特定技能外国人)を多数受け入れました。そんな中で苦慮したこと、工夫したこと、共に考え、行動したことが認められ、法人として「群馬県多文化共創カンパニー認証」を頂くことができました。これからも、彼らと共に老健の役目である在宅復帰をめざした支援、地域に開かれた老健を目指して努力して参ります。



# これ知ってました？

## 摂食・嚥下障害とは？

- ・食べる機能、飲み込む機能が障害されることで上手く食べたり、飲み込むことができない状態のことです。
- ・栄養低下、脱水、誤嚥性肺炎、窒息などを起こす可能性もあります。

## どんな症状が出る？

- ・むせる
- ・咳が出る
- ・喉の違和感
- ・食べ物が残っているような気がする
- ・食事の好みの変化、食事時間の変化など…



## 摂食・嚥下障害の原因

### 器官の形の異常

- ・先天的な形態異常
- ・後天的な異常  
(歯列の不正、噛み合わせの不正、手術による術後の欠損など)

### 神経系の障害

- ・重症筋無力症
- ・脳血管障害
- ・パーキンソン病
- ・脳外傷など

### その他

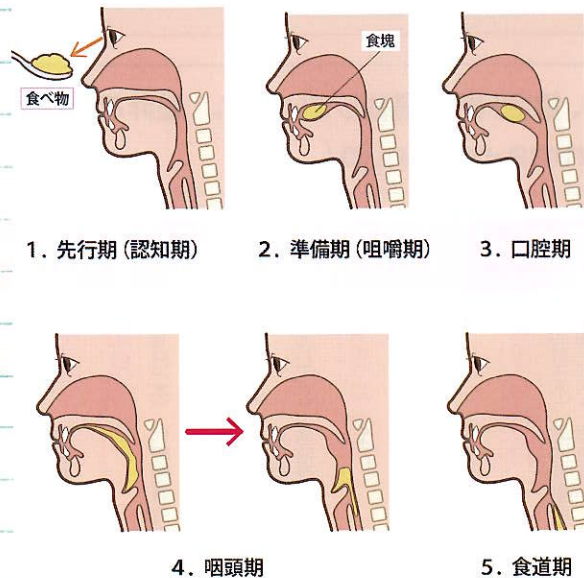
- ・加齢や廃用性萎縮に伴う障害
- ・薬剤の影響など

脳血管障害の患者さんでは急性期に30~80%が摂食・嚥下障害を引き起こし、約5%が慢性期まで誤嚥が残存すると言われています。

## 摂食・嚥下障害の病態

摂食嚥下には食べ物を認識する「先行期」から始まる5つのステージがあり、それらが様々な原因で正常に機能しなくなった状態のことを摂食・嚥下障害と言います。

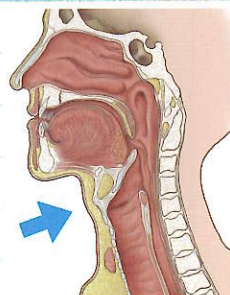
- ① 先行期
- ② 準備期
- ③ 口腔期
- ④ 咽頭期
- ⑤ 食道期



特に高齢者では・・・  
加齢による筋力低下により摂食嚥下障害が起こりやすくなります。これは、加齢に伴い喉頭の位置が下がり、飲み込む時に喉頭を持ち上げる筋肉が弱くなることによって、飲み込む時に、気道を閉じる機能がうまく働かず、食べ物を誤嚥しやすくなるためです。

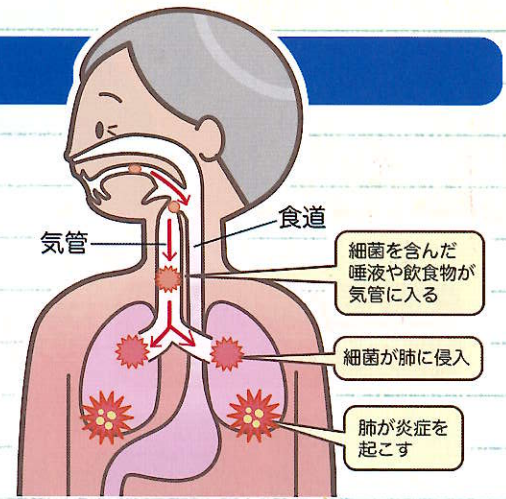


喉頭とは「のど仏」あたりの器官を指します。(矢印)  
飲み込む時にのど仏を触ると上に挙がるのがわかります。  
挙上量は1-2cm程度が正常の目安です。



## 誤嚥性肺炎の病態

嚥下機能の低下などにより細菌を含んだ唾液や飲食物が誤って気管に入る（誤嚥）と、肺に侵入し、誤嚥性肺炎を引き起こします。  
口腔内の細菌が増殖していることや嚥下機能の低下、咳反射の低下などにより起こりやすくなります。摂食・嚥下障害では誤嚥性肺炎のリスクも高くなります。



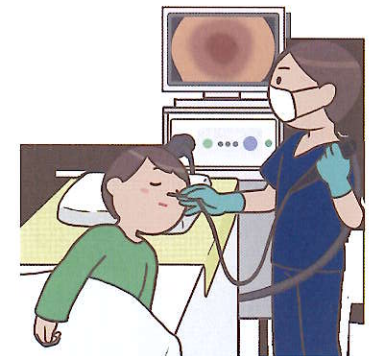
## 嚥下機能の検査

- ・反復唾液嚥下テスト
- ・改訂水飲みテスト
- ・フードテスト
- ・嚥下造影検査
- ・嚥下内視鏡検査

などがあります。患者さんの全身状態などを考慮し検査を決めていきます。

### その中でも…

道具が要らず、簡単に、安全に行える検査に「反復唾液嚥下テスト」があります。  
のど仏のあたりに指を軽く当て、唾液を飲み込む時に喉頭が上がるのを確認しながら、30秒間に3回以上唾液を嚥下できるか観察する検査方法です。



内視鏡検査



30秒で3回以上が正常の目安です

## 摂食・嚥下障害の治療

大きく分けて以下の二つの治療があります。

### ・直接訓練（食べ物を使った訓練）

直接訓練では適切な食事形態を指導したり、姿勢の改善や嚥下方法等の指導を行います。  
例) とろみの調整や食事時の姿勢の指導

### ・間接訓練（食べ物を使わない訓練）

間接訓練では摂食・嚥下に関連した筋の強化を行います。  
例) 口唇を閉じる筋や舌の動きを改善する訓練



チーム医療で  
摂食・嚥下を支えます！



公益財団法人老年病研究所附属病院

歯科・歯科口腔外科 歯科医員 戸谷 麻衣子 先生



## 介護報酬改定 ～多床室の室料負担～

はじめに 2024 年 1 月 1 日に起きた令和 6 年能登半島地震の犠牲になられた方には心からの追悼を行うとともに、被災された方々へお見舞いの気持ちを申し上げます。地域だけでなく広範囲な被害をもたらしたこの地震で、隣県の新潟県では地震から時間が経ってから液状化現象で家屋が全壊するなどの被害が広がりました。大きな天災が起こるたびに自分のところでしょうかと同じように医療や介護を止める事なく事業活動が継続できるだろうか、BCPの大切さをしみじみと痛感しています。幸い群馬県は天災が少ないと言われていますが、地域によっては、渡良瀬川の氾濫や浅間山の噴火というように常に災害を視野に活動する必要があり、転ばぬ先の杖はいつもしっかりと握っていなければならないと思う気持ちが日々募っています。

そのような混乱の新年ではありましたが、事態は粛々と介護報酬改定に進んでいます。今回の改定での私が最も残念に思うことは介護医療院、介護老人保健施設の一部に多床室料金自己負担が導入されたことです。このことは、到底、国民の皆様には理解を得られると考えられませんし、住民票は自宅にあることが調査からみても明らかで、ホテルコストが二重負担になる利用者さんが98%です。当然室料の自己負担分は、その分介護報酬が削られ、施設に入る収入が増額されるわけではありません。国は、看取りの施設であり特養と同じだからという理由で算定に踏み切りましたが、多床室料自己負担が発生する老健であっても3割の方は死亡以外の転機を辿っています。ご利用者の立場を考えると多床室で室料をご負担いただくには、4人部屋の多くはカーテンで区切られただけの空間で、特養の多床室とは異なり、わずか8平米という狭い面積の空間であり部屋とみなせるものではなく、倫理的にも室料としてご負担してもらうにはふさわしくない生活環境であると考えています。現状から何らサービスが変わらない状況の中で、どのように説明をしたら室料負担増をご利用者やご家族にご納得していただけるのか全く想像もつきません。もっと精緻な調査を行い、しっかりと話し合いをし、パブコメを含めて広く国民の意見も聞くべきだったと今でも考えています。もともと特養は、措置の時代から「終のすみか」として住まいの役割を担ってきました。このために平成27年度に室料自己負担の議論が進められたという経緯があります。少なくとも介護医療院と同様に、室料自己負担を求める以上、該当の老健の多床室の仕切り家具導入について補助金で環境を整えるなどの配慮が必要ではないかと考えます。

また、看取りの場でもありますが、老健も介護医療院も設備要件に調剤所をはじめ医療設備を求めており、実際に喀痰吸引やインスリン注射などの医療行為が常態的に行われ、加えて老健の施設長は医師であり、言うなれば生活の場であるとともに紛れもない医療の場でもあります。実際に、これら医療行為が伴うことで、特養はじめ他の施設へ退所できない利用者の介護保険を伴った医療の最後の砦でもあったと考えます。今回は、実数としては少人数の方の負担となりますが、今後、なし崩し的にすべての老健に室料負担が発生しないよう配慮する必要があります。

今回の介護報酬改定は、医療と障害のトリプル改定であり、最も時間をかけて話し合われたことが介護報酬の分科会でありながらも高齢者の「急性期医療のあり方と、その提供場所」についてであったことがポイントです。これからの超高齢多死時代をいかに乗り切るかが我が国の目下の課題であり、この課題を乗り切るには超高齢になった時にどう生きていきたいのか、どんな医療を受けたいのかを私たち国民一人一人がACPの中に盛り込めるかどうかにかかっているのかもしれない。そして、その思いを老健としていかに受け止める力があるかどうかこれがこれからの行方を占うように思います。

公益社団法人全国老人保健施設協会 副会長 医療法人大誠会 理事長 田中 志子

施設の「空床情報」等、協会HPに掲載しています。是非ご覧ください。

<https://www.gunma-roken.jp/>



### あしがき

- S** 新型コロナウイルスやインフルエンザが流行していますが、負けずに頑張ってくださいませ(っ)。
- N** まだまだ感染対策を油断せず実施していきましょう。
- T** まだまだ寒い時期が続いていますので、体調に気を付けて過ごして参りましょう。

### 協会・事務局コーナー

- 令和7年3月 19日(水) 臨時総会
  - 令和7年2月 12日(水) 代表委員会(オンライン)  
19日(水) 臨時理事会  
協会だより「ひろば(Vol45)」発行予定
  - 14日(木)・15日(金) 全老健岐阜大会
  - 20日(水) 通常理事会
  - 11月 16日(水) 代表委員会(オンライン)
  - 10月 10月 協会だより「ひろば(Vol44)」発行予定
  - 8月 8月 協会だより「ひろば(Vol44)」発行予定
  - 7月 7月 老健くんま(Vol27)発行予定
  - 6月 19日(水) 臨時理事会  
19日(水) 定時総会
  - 5月 8日(水) 代表委員会(オンライン)  
22日(水) 通常理事会
- 協会行事予定(令和6年度)